

地域支援だより

平成24年7月11日

第24号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

防災対策



★ 避難時の介助計画

児童生徒一人一人の安全に配慮した避難介助を共通理解するために、各学部ごとに作成しています。手術や療養などのため身体状況が変わることがあるので、その都度修正して、いざというときに備えています。

今年度は、エリア3校合同避難訓練が3回、秋田きらり支援学校のみ地震想定避難訓練が1回、隣接する医療療育センターとの合同避難訓練が2回予定されています。今回は、本校の防災対策の特徴を紹介します。

★ 非常用車椅子の設置

通常は独歩可能でも、非常時は車椅子の方が避難しやすい児童生徒のために、各教室の廊下に非常用車椅子を設置しています。



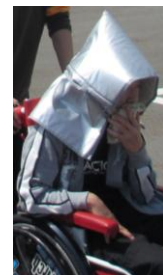
★ 安否確認ボード

児童生徒、職員一人一人の安否を把握するために、マグネットシートを使用したボードを活用しています。安否が一目で分かるように、色や項目を工夫しています。



★ 防災ずきん

児童生徒全員が、車椅子等につけて常時携行しています。特別教室には、予備のずきんとマスクを配置しています。



★ 段差解消スロープ

スムーズに避難をするために、非常口には入口の幅に合わせたスロープを設置しています。



★ Eメール一斉配信システム

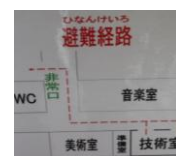
保護者や教職員へ、必要な情報を迅速に提供するために、携帯電話を利用したメール配信システムを運用しています。



24年度は、危機管理マニュアルを更新し、全校職員に配布して災害時に備えています。

★ 校舎内避難経路図の掲示

各特別教室に、最寄りの非常口への避難経路を示した図を掲示しています。



秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

連載 本校の授業の様子から

今回は運動会中学部趣向走の様子を紹介します。中学部では今年「ラッキー6」の趣向走を行いました。内容は、30点や20点などのゾーンをねらってボールを投げたり転がしたりして総合得点を争うゲームです。また、投球後にはサイコロを振り、出た目で自分のチームや相手チームの得点に反映されるようにしました。サイコロでの得点を用いたことで、自分の得点が少なくてもサイコロで挽回できるので、あきらめずに最後まで勝負にこだわる姿が見られました。サイコロの目にちなんで趣向走のタイトルも「ラッキー6」となっています。

生徒一人一人が最大のパフォーマンスを発揮できることを第一に考え、転がすボールは大きさや素材の異なるものをいくつか用意しました。また、的へ投げるボールはマジックテープを巻きつけてくっつくようにしています。簡単にくっつくため、ねらう生徒たちもとても積極的で、運動会当日は真ん中に当たった生徒がいたほどでした。勝敗はつくものの、自分たちのもてる力を精一杯発揮できた充実感は、一人一人の表情から十分に伝わってきました。



子どもの心の発達に関する研修会のご案内

夏期休業中に本校で行われる研修会について御紹介いたします。今回御紹介する研修会は、本校に隣接する県立医療療育センターの精神科医をお招きし、講話していただいた研修会です。子どもの心のとらえ方や、心の問題が生じる原因等について一緒にお話を聞いてみませんか。

講演：「**子どもの心のSOS**」

講師：秋田県立医療療育センター

精神科こころのケア 医師 室岡 守 氏

(秋田県発達障害者支援センター ふきのとう秋田 センター長)

日時：平成24年7月31日(火) 14:00~15:40

会場：あきた総合支援エリア 大会議室(秋田きらり支援学校)

※参加を希望される方は、学校名、職・氏名を記入の上、7/17(火)までにFAXにてお申し込みください。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail: kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

次号は8月24日発行予定です。